

ふれあい さいせい



発行

済生会西条病院

2007年秋号 第37号

西条市朝日中269-1

TEL(0897)55-5100

みなさんをお願いします

副院長 外科部長 石井 博

**中国・保定市第一中心医院から、
医療交流生が訪れました!!**

センター長 常光 謙輔

**常勤医師による眼科診療を
開始しました!!**
永年勤続表彰
いしづち苑 夕涼み会

いしづち苑 介護福祉士

稲井 孝昭

委員会紹介「接遇改善委員会」
**病院内での携帯電話の
ご使用について**
ニューフェイス

中国・桂林の漓江下り 撮影：センター長 常光 謙輔

みなさんをお願いします

副院長 外科部長 石井 博

副院長 外科部長
石井 博

本年の夏はラニーニャ現象で、非常に暑い夏となりました。冷房をつけなければ室内においても熱中症となり、亡くなった方も日本だけではなく全世界たくさんおられました。今後も暑い夏は巡ってくるので、水分摂取を十分にされ熱中症にならないようお願いいたします。夏には参議院選挙で自民党が大敗し結果的に安倍総理大臣は健康を理由に辞任されました。身体の健康は総理大臣であっても職を遂行するには重要のようです。現在、日本の医師数は人口1000人対2人で経済開発協力機構(OECD)30カ国中27位と非常に少なく、医療費は対GDPで27位と非常に安い上に世界一の平均寿命が得られています。厚生労働省は医療費が高騰するという理由で医師数を制限しています。奈良県で妊婦の急患対応に問題があったことを報道していますが、実際に医師数は産婦人科や小児科のみならず全体的に不足しており、当院においても特に救急患者に対応できる医師は毎年少なくなっています。私たち医師は交替制でなく、夜間あるいは休日当直であっても次の日の診療は夜まで続けなければなりませんし休日に対する代休もありませんので、当直を担当する医師は非常に疲弊しております。しかし、夜間あるいは休日に痛みや辛さで我慢できなくて来院される皆さんのために、救急診療は私たちの使命と思い一所懸命診療にあたっております。当院における時間外あるいは休日診療は24時間営業のコンビニ診療ではなく、救急患者のための診療であることをご理解いただき、軽症である場合は診療時間内に受診していただくようご協力お願い申し上げます。また今後就任される総理大臣には、病院に勤務する医師が疲弊のために病院を立ち去り、結果的に地域医療の崩壊することを防ぐ種々の政策を是非お願いしたいと思っております。

本年の夏はラニーニャ現象で、非常に暑い夏となりました。冷房をつけなければ室内においても熱中症となり、亡くなった方も日本だけではなく全世界たくさんおられました。今後も暑い夏は巡ってくるので、水分摂取を十分にされ熱中症にならないようお願いいたします。夏には参議院選挙で自民党が大敗し結果的に安倍総理大臣は健康を理由に辞任されました。身体の健康は総理大臣であっても職を遂行するには重要のようです。現在、日本の医師数は人口1000人対2人で経済開発協力機構(OECD)30カ国中27位と非常に少なく、医療費は対GDPで27位と非常に安い上に世界一の平均寿命が得られています。厚生労働省は医療費が高騰するという理由で医師数を制限しています。奈良県で妊婦の急患対応に問題があったことを報道していますが、実際に医師数は産婦人科や小児科のみならず全体的に不足しており、当院においても特に救急患者に対応できる医師は毎年少なくなっています。私たち医師は交替制でなく、夜間あるいは休日当直であっても次の日の診療は夜まで続けなければなりませんし休日に対する代休もありませんので、当直を担当する医師は非常に疲弊しております。しかし、夜間あるいは休日に痛みや辛さで我慢できなくて来院される皆さんのために、救急診療は私たちの使命と思い一所懸命診療にあたっております。当院における時間外あるいは休日診療は24時間営業のコンビニ診療ではなく、救急患者のための診療であることをご理解いただき、軽症である場合は診療時間内に受診していただくようご協力お願い申し上げます。また今後就任される総理大臣には、病院に勤務する医師が疲弊のために病院を立ち去り、結果的に地域医療の崩壊することを防ぐ種々の政策を是非お願いしたいと思っております。

中国・保定市第一中心医院から、医療交流生が訪れました!!

センター長 常光 謙輔

当院と中国保定市第一中心医院との交流は西条市職員であった故明石昭彦氏(元当院看護部長 明石シナ子さんのご主人)の仲介によって1989年に始まり、1991年に友好病院となりました。保定市は北京から南西方向約130kmのところであり、高速道路で2時間の距離です(地図参照)。当時は保定地区医院という名称の500床規模の病院でしたが、1995年に保定市の合併に伴い、保定市第一中心医院という名称になりました。3年前に郭院長の努力が実り、17階建て860床の新病院ができましたが(写真参照)、新病院にはヘリカルCTやMRI、血管連続撮影装置、Acusonの超音波診断装置など最新の医療機器を揃えており、手術室が13室もあります。

交流開始以来当院からは5回、第一中心医院からは4回の相互訪問を行っております。

また第一中心医院からは1993年に医師2名・看護師5名が、1994年には医師2名が研修に来られております。

今回は郭院長の肝いりで4名のドクターと2名の看護師さんが3ヶ月間の研修に来られることになりました。メンバーは下記の通りですが、言葉で苦勞されると思いますので関係する部署の方々には親身に接してあげていただきたいと思っております。なにとぞ、よろしくお願い致します。

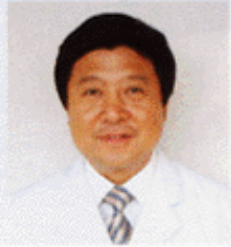


中国・保定市第一中心医院 医療交流生



李冉(リーラン)
神経外科主任医師

私たち一行6人が済生会西条病院に来て20日間が経ちました。当院の常光名誉院長、岡田院長およびスタッフのみなさんの誠実かつ、西条市の美しい景色、それから人の心の素晴らしさを感じます。



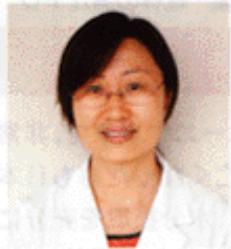
李晔(リーイェ)
外科主任医師

済生会西条病院のみなさんの仕事に対するまじめな姿勢、心をこめて接しているところに感動しました。これからも西条市と保定市の友好関係が発展するように、お祈り致します。



劉福興(リュウフーシン)
神経内科副主任医師

スタッフのみなさんが仕事に情熱を注いでいる姿勢に感動を覚えました。皆様の健康および幸せをお祈り致します。最後に両国の友好が永久に続くことを心より願います。



李紅星(リーホンシン)
内科副主任医師

岡田院長の謙虚で、熱意を持って診療に取り組む姿勢は、私の心の中で深く印象に刻まれました。常光名誉院長やスタッフのみなさんもすべての面で心をこめて接してくれたことに感謝しています。



劉偉(リュウウェイ)
ICU看護師長

私は済生会西条病院に来て、熱烈な歓迎を受けたことを心より感謝しています。この20日間、スタッフのみなさんが患者さんに対して心をこめて接しているところに感動を覚えます。私自身もこの気持ちを中国に持って帰りたいです。よろしく願います。



劉麗萍(リュウリーピン)
質量管理課看護師長

済生会西条病院の常光名誉院長先生は、私の中国にいる父のような暖かい気持ちで私たちに接してくれることに感謝しています。岡田院長先生は誠心誠意仕事に情熱を注いでいます。私は研修に来たことを心より感謝しています。



常勤医師による眼科診療を開始しました!!

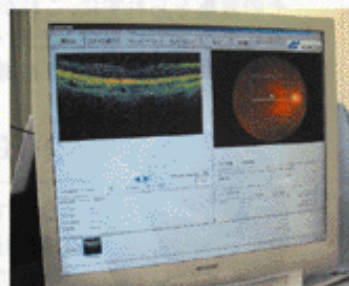


眼科は9月1日より、小林・山本の2名の先生が赴任され、外来も二診同時に診察が行われるようになりました。それに伴い診察室の改装工事が

行われ、新しい機器類も導入されました。今まで行えなかった無散瞳での眼底写真撮影が可能な眼底カメラや、網膜の断層撮影が可能なOCT、またモニタリングシステムの導入で、幅広い疾患の検査結果をスピーディーにわかりやすく患者さんへ伝えることができるようになりました。また、ORTや看護師も増員され、これから増えるであろうと予測される患者さんへ対応できる体制を整えております。

また医師が2名になり、白内障だけでなく網膜・硝子体疾患への手術も可能となったことで、網膜剥離などの緊急を要する症例にも対応できるよう手術室・病棟も含めた準備を行っています。

それでは新しい眼科の2名の先生をご紹介します。



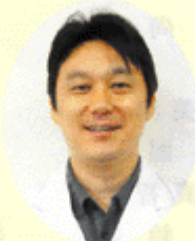
眼科部長 小林 瑞

これまで周桑病院に勤務しておりましたが、医局人事で9月1日から当院に赴任しております。通勤時間が延びて音楽を聞く時間ができたのは嬉しいのですが、帰ってから夕食を作る時間が少なくなった為、お惣菜や外食で済ませることが増えて、子供(と夫)からは文句が出ています。

今回の人事で周桑病院の眼科は常勤2名から週2回の非常勤医師1名になり、周辺の患者さんには不便をおかけすることとなり、申し訳なく思っております。医師不足、集約化と言われておりますが、実際患者さんに接している立場としては、これは仕方がないことだとは割り切れず、やるせない気持ちです。

ただ、済生会西条病院の眼科は8月まで非常勤医のみだったのが、この9月から常勤医2名で診療を開始しており、この地域の患者さんにとっては非常に良いことだと思っております。また、常勤2名でのスタートに際し、外来改装や最新の機器を快く揃えてくださった病院に感謝いたします。

患者さんが何でも質問や相談をできるような診療を心掛けたいと思っておりますので、気軽に声をかけてください。もちろん院内スタッフの方も声をかけてください。私も新しい病院で分からないことが多く、色々聞くとありますが、よろしくお願いします。



眼科医長 山本 正治

9月から眼科が2診体制となり、勤務しています。8月までは県立中央病院にいました。県立中央病院では外来診察と白内障、網膜硝子体疾患、緑内障、外眼部などの手術をしておりました。松山の中心の病院でしたので多くの患者さんが訪れ、多様な眼科的疾患を診させていただくことができました。これからはさらに済生会西条病院で勉強し、また今までの経験を生かして地域の皆様の目の健康に貢献できるようにがんばっていききたいと思います。幸い9月からは2診体制を機に外来も手術室も新しい検査器具や機械が多数入っており、質の高い眼科診療ができるものと思っております。よろしくお願い申し上げます。



平成19年度済生会学会・総会

永年勤続表彰

30年勤続表彰

准看護師 上林 サトミ

楽しかった寮生活、卓球大会、病院の屋上での芋炊き、忘年会で踊ったピンクレディー、無我夢中で仕事した1人夜勤・・・

今思い起こせば、30年前、済生会に就職してから、たくさんの友達や仲間ができました。

その人たちに支えられ、励まされながら今日まで来ることができました。こんなに長い間続けることができたのは、本当に働きやすい職場だったからであり、そのことには非常に感謝しています。

働くということは、人間の自然の姿です。また、「精神の集中、神経の張り、適度の運動、意思の持続」これらの要素は、精神的にも肉体的にも老化を防ぐ効果があります。

私には、地位も名誉もありません。しかし、どんな仕事も忍耐強く、自己の構築のため一步一步頑張ってきました。

これから何年間働けるかわかりませんが、健康で働けることに感謝し、自分の目標と希望を持ち続けたいと思います。

私の好きな言葉に、「幸福とは、自分だけの幸福ではなく、人を幸福にできる人が本当の幸福者なのである」というのがあります。その言葉を忘れずに、これからも看護師として病める人々のために、少しでも役に立てよう頑張ります。

そして今までに出会ったたくさんの友人を、自分の宝として大切に守っていきたいと思います。

今後共、皆様方にはご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

20年勤続表彰

看護師長 星川 泉美

今まで、私を支え協力してもらった方々に深く感謝致します。

20年間透析に勤務しました。透析は患者さんと一生涯を通して繰り返される療法です。患者さんから学んだことは「忍耐力」です。看護師として患者さんに対し学んだことは「真摯な気持ちを忘れず患者さんに接していく」ことでした。優しく、何でも聞き入れてくれる看護師であり対処していく姿勢が大切だと思います。

この4月から病棟に勤務しています。透析室を去る時、患者さんから異動を借しむ言葉を頂き感激しました。病棟勤務は私の新しいスタートです。同じ病院なのにこれほど環境や体制が違うのか戸惑う日々です。ただ看護師として変わらぬ思いは「患者さんと向き合い、1日も早い回復と社会復帰」です。そのためにはスタッフや他部門との協力を計ることが大切です。病棟スタッフに対し働きやすい環境作りを考慮し私のできる限り努力していきたいと思います。

10年勤続表彰

看護師 友枝 弘子

平成8年に就職し、早いもので10年が過ぎました。

この10年でとても記憶に残っているのは、看護学校を卒業し、初めての点滴をさせてもらった時のことです。

心臓が飛び出しそうなくらいドキドキしながら、震える手と声で「点滴させて下さい」と言った時、びっくりするくらい太い血管で、さらに色白で、針を刺す場所がとても分かりやすかったことが

思い出せます。それから10年、気が付けば2人の娘に振り回される毎日ですが、これからも仕事に育児に頑張っていこうと思います。

◆30年勤続表彰者

准看護師 上林 サトミ

◆20年勤続表彰者

看護師長 星川 泉美

看護師 河野 玉美

看護師 森 さとみ

主任臨床検査技師 伊丹 眞二

臨床検査技師 石川 定利

主任理学療法士 渡部 俊郎

保育士 三並 富江

主事補 正岡 めぐみ

◆10年勤続表彰者

看護師 友枝 弘子

看護師 高橋 美智代

看護師 越智 尚美

薬剤師 河津 久

作業療法士 真鍋 美津子

看護助手 立花 照美

看護助手 真鍋 真智子

いしづち苑 准看護師 篠宮 鈴美

◆算水賞

看護師長 青野 恵美子

夕涼み会

いしづち苑 介護福祉士 稲井 孝昭

いしづち苑では、9月1日(土曜日)に夕涼み会を行いました。この時季になりますと「今年の夕涼み会は、どんな事をするん?」「何日にするん?」と心待ちに聞いてこられます。利用者の方々にとって「夏の夕涼み会」は特別の意味合いを待つイベントなのです。それは、ご家族の方と一緒に季節を感じ、楽しく過ごせる時間になるからです(ご家族の中には、はるか遠方、県外より、お越しいただいた方もいらっしゃいました)。

当日は、残念ながら、天候不良のため、屋内での催しとなりましたが、露店の綿菓子の甘い匂いに誘われ、笑顔いっぱいスタートとなりました。

恒例の「新人紹介を兼ねた出し物」に利用者やご家族の温かい拍手を頂き、ボランティアの佐伯先生によるアコーディオン演奏にのって、懐かしい歌を一緒に口ずさみました。



今年から試みたお楽しみの「くじ引き」は大盛況! カラクジなしのため、利用者の皆さんの笑顔の花が咲きました。ファイナーレの盆踊りでは、仮装したスタッフとともに踊られる利用者の方々の懸命な姿が印象的でした。「本当によかった、楽しかった…」と利用者の方の声を受けて、「来年の夏は、町中の夏祭りにでも一緒に繰り出してみたい…」などと、想いをはせながら夕涼み会も終わりとなりました。日を変え、苑庭で花火大会を行いました。夜風にあたりながら、夏の艶やかさ、また夏の終わりにちょっと切ない想いがほんわかと漂っていました。

最後に利用者の方々、ご家族の皆様、多数のご参加、ご協力を有り難うございました。来年は、真夏の星空の下でお会いしましょう。



委員会紹介

「接遇改善委員会」

委員長 院長代行 黒河 達雄

当院に接遇改善委員会が発足したのは平成16年3月で、第一回の委員会が会議室で開かれました。委員をマニュアル、調査、広報と3グループに分けてそれぞれ活動してもらい、委員会で全体討議し決定した目標に向けて研修を行うようにしました。まず基本である挨拶、笑顔、言葉使い、感じのよい態度、電話対応、身だしなみの6つの事項をそれぞれ月間

目標としてひとつずつ改善してゆくべく職員の意識改革を目指しました。病院の内装を塗り替えたり椅子を新しくするハード面のサービスのほうがお金はかかるし、時間もかかります。ところが、費用もかからず、今日からでもすぐ実行できるサービス(態度、言葉、笑顔)がなかなか出来ないのです。そこでソフト面の人対人の暖かいサービスを強化するため、その年の12月から1月にかけてロールプレイをすることにしました。講師は取引先のプロにお願いしました。職員を6~7班に分けて全員が受けるようにしました。ベッドサイドでの患者さんとの対応、窓口での挨拶、笑顔、心配りなど実際の場面を想定して演技してもらいました。模擬演技では皆さん大変上手で、心くばりについてすこし意見を追加した程度でした。このロールプレイは年間行事として定着しています。しかし、いまだに外来現場では無愛想であったり、夜中に来られた患者さんに接する態度が冷淡だったというような投書が後を絶ちません。このソフト面のサービスはどこの病院でも頭を悩ませているようです。当院でも今年は特に挨拶を取り上げて年間目標とし、徹底させるべく「どこでも誰にでもまず笑顔で挨拶」をアピールしています。職員の皆さんの協力をお願いします。

朝、鏡の前で笑顔の練習をして出勤しましょう。



》》》 病院内での携帯電話のご使用について 《《《

平成19年11月1日から、済生会西条病院内で、携帯電話の使用が可能になります。
ただし、使用できる場所や使用方法には制限がございますので、以下の注意書きをお読みの上、
ルールとマナーを守ってご使用願います。

◎ 音声通話・メールが 使用できる場所

外来待合、
受付・薬局前ロビー、
各階エレベーターホール、
個室病室内、屋上庭園

○ メールのみ使用 できる場所

各階一般病室内

× 携帯電話が使用 できない場所

診察室、エレベーター内、
ICU（集中治療室）、手術室、
画像センター、各種検査室、
リハビリテーション科
（これらの場所ではかならず
電源を切ってください）

- ・ 周囲の方の迷惑にならないよう、かならずマナーモードで使用してください。
- ・ 音声通話をされる際は、周囲の方の迷惑にならないよう、声の大きさに気をつけてください。
早朝・深夜は特に気をつけて使用してください。
- ・ 医療機器の安全性については確認していますが、念のため医療機器や他の患者さんの体に
携帯電話を直接近づけないようにしてください。
- ・ 危険防止のため、歩きながらの使用はおやめください。
- ・ 体調を崩さないよう、無用・過度の使用は避けてください。
- ・ 一般病室内で充電器を使用される場合は、規定の電気料金をいただきます。
- ・ ルール・マナーがお守りいただけない場合は、携帯電話の使用をおやめ頂く場合がございますので、
ご注意ください。



済生会西条病院